

# 山行報告書

作成:2008年4月14日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	頸城山群 火打山(2462m)	目的[方法]	山スキーを楽しむ
期間	2008年4月12・13日前夜発	形態	避難小屋泊スキー登山で周回
参加人数	5人		

## 行動記録:

4/11 金:岩津市民(20:35) = (0:10) =河合池運動公園 P (20:45,21:00)= (0:05) =豊田東 IC(21:05) = (2:55)= 姥捨 SA (12:00,TS1 消灯 12:30)  
 4/12 土:晴れ時々曇り TS1 姥捨 SA (5:00 起床,6:15) = 妙高高原 IC (6:35) = 除雪終了地点 P (県民の森付近 7:00,7:53) - (1:07) - 笹ヶ峰登山口 (9:00,08) - (2:07) - 十二曲(11:15,25) -(1:55) - 富士見平(13:20,13:40) -(2:00) - 高谷池ヒュッテ TS2(15:40,20:30 消灯)  
 4/13 日:曇り時々晴れのち雪(起床 4:55,6:33) -(0:27) - 天狗の庭(7:00) -(1:50) - 火打山(8:50,9:15) -(1:00) - 高谷池ヒュッテ(10:15,11:20) -(2:20) - 三田原山 2347m(13:40,13:50) -(2:40) - 仙人池付近の林道 (16:30,17:00) [車(P)まで 1.1km] -(0:15) - 苗名の湯 450 円 (17:20,18:45) = (0:15) = 妙高高原 IC (19:00) = 梓川 SA 給油 (19:15,19:25) = 駒ヶ岳 SA ディナー (21:10,21:45) = 豊田東 IC = 河合池運動公園 P (22:55)

## 概念図:



## 日誌:

まず岩津市民Cへ5人8:30 集合し、4台で河合池運動広場Pへ移動駐車、荷物をブラドに積み込み9:00 出発。車内では例のテレマーク技術 DVD でイメージアップ、更にスパイダーマン3で頭はハッピーエンド、更に更にKNさん + YAさんの婚約発表にうれしい出費が有りそう。姥捨 SA の夜景の綺麗な高台芝生上にテントを設営 24:30 消灯。翌朝5:00 起床、眠いが朝食を飲込む、SA は水、トイレが使えて便利だ。妙高高原 IC を出て [深夜割 4450 円]、笹ヶ峰に向かい除雪終了地点 [県民の森付近] で路駐、身支度して除雪車前からシール登行で 1 時間程緩い林道を歩くと赤テープの付いた笹ヶ峰登山口で北方向へ右折する、1 時間程で黒沢の小橋を落ちない様に渡り、尚も十二曲がりに向けて進むと徐々に傾斜がきつくなる、トップ K 氏の斜面を大きく使った緩い斜登行トレースが美しくジグザグを描き従えば楽に尾根に出る。が、さらに傾斜が増した為、つぼ足でスキー板を担いでクリアする、スキーを装着して 1 時間程で柔らかな雪肌が輝く富士見平が迎える。そして黒沢岳の大トラバースに差し掛かると高谷池ヒュッテが見える、あと少しのがんばりだが寝不足で眠いトラバースだ、小屋に着くと 1 階から梯子を登り、3階窓から進入する、敷き布団、毛布、掛け布団、枕、が使えて広くて快適だ、ちゃぶ台を使わせて頂く、雪取りバケツにいっぱい雪を運び、まず水からつくる、今日は飛騨山岳会 2 人、つぼ足 2 人パーティともう 2 人パーティで計 11 名だ、KK 食当のニンジン・ジャガイモ・タマネギ・ソイタケ・ささ肉の油でひたすら炒めて軽く縮んだベミカンの手の込んだクリームシチューが素晴らしい。シュラフは使わず、私だけ 20:00 に夢の世界に入る。4/13 翌朝は 5:00 起床、すぐ布団をたたんでちゃぶ台を出し、トイレのついでに買物袋に水用の綺麗な雪をいっぱい取る、朝食はベミカン入り雑炊がおいしく良く入る、煎茶とコーヒーでティータイム後、不要な荷物は棚に残して、6:33 火打アタック開始。始めは緩い斜面でシールが良く効き快調だったが、急になると早朝のアイスパーンでシールが効かない、みんな板を担いでつぼ足で登る、頂上直下はしっかり凍ったアイスパーンだが、昨日の先駆者のキックステップ足跡を使い、恐々となんとか頂上に抜けることが出来た、8:50、5名全員火打岳登頂おめでとうの握手を交わす。休憩後全員山頂でシールを外す、9:15 気を引き締め、思いっきり解放だ!アイスパーンに飛び込む、何とかエッジが効きターンが出来る、うれしい。たのしい。気持ちいい。100mも下れば後は快適なスキー滑降だ、ビデオ撮影しながら高谷池ヒュッテに戻る。小屋に入り早目の昼食を取り、荷物をパッキング。小屋内を片付けて窓から出て窓を閉めて、小屋を後にする。まっすぐ黒沢岳のコルへ登ると黒沢ヒュッテが左に見える、そこから大きく快適な斜面を黒沢池へ気持ちよくテレマークながら広い池塘に下りる、そしてまた真っ直ぐに三田原山に突き上げている白い谷をシールを効かせて登る。三田原山稜線に出ると小雪がガスがわいてくる慌てず雪庇に気を付けて、2300m ビーク右折地点に向かうがガスの為 200m 手前でシールを外してしまった、しかし上手く右トラバースして巻き、本来の 2300m 右折ルートに出る。ここで杉の原スキー場リフトが目に入る。ここからはほとんど真っ直ぐ南方向に池ノ峰・仙人池を目指してツリーランを満喫しながら、ふかふかの春雪にシュプールを描いて滑降する。途中狭い谷を下った為、ヤバイ滝に出くわしたが左の尾根に50m程登り返すと、また良い斜面が続いていた、そこからはもう終わりの為か緩斜面になり皆思い思いのスローなツリーランを滑り、なごり惜しみながら楽しむ。すると突然、仙人池付近の林道に飛び出た、みんなご苦労様の握手を交わす。そしてブラド車の回収をKNさんにお願いする、ここまでブラドから 1.1kmあったそうです。

## 感想:

火打山は山スキー中級以上の面白くてたまらない緊張感のあるもう一度山スキーで行きたい山スキーベスト3に入ると思いました。  
 火打山頂付近の早朝はアイスパーンのため、キックステップも入らない状態で次回はスキー靴にアイゼンを合わせて持って行けば安心。また、前日の午後に余裕があればアタックしておけば、シールで登頂できたと思いました。  
 高谷池ヒュッテは3階が冬季小屋で寝具も20組は有り、暖かく快適です。(1,000 円/泊)  
 苗名の湯 450 円が安くいい湯です、お勧めです。